北海道浮魚ニュース

平成 11（1999）年度　4号　通巻 No.50）
1999 年 7月 5 日

北海道立中央水産試験場　Tel :0135-23-8707　Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場　Tel :0154-23-6221　Fax :0154-23-6225
函館水産試験場　Tel :0138-57-5998　Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場　Tel :0162-32-7177　Fax :0162-32-7171
網走水産試験場　Tel :0152-43-4591　Fax :0152-43-4593

◎道南～道央日本海スルメイカ調査結果　おやしお丸 :6月 22～30 日の調査）

スルメイカは沿岸寄りで高密度、魚体は小型

① スルメイカの分布密度

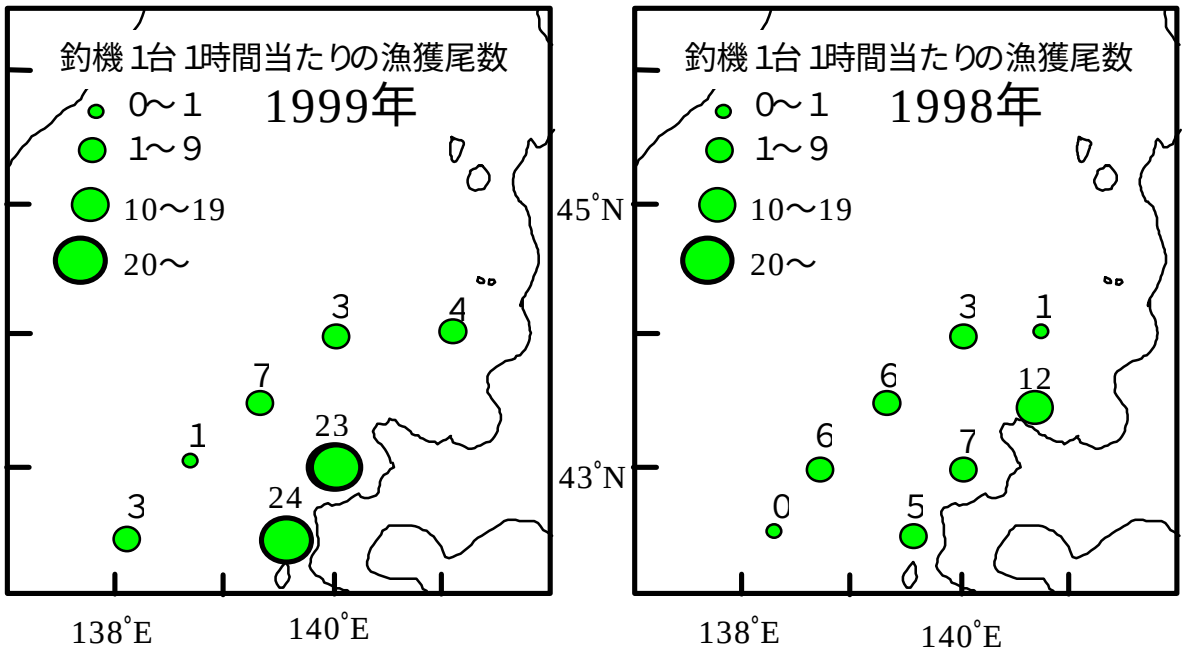

図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度 左図：1999 年、右図 :1998 年）

スルメイカの分布密度（CPUE:自動いか釣機 1台 1時間当たりの漁獲尾数）は 1～24 でした（図 1）。**岩内と瀬棚の沿岸寄りで前年よりも高密度、沖合は前年同様に低密度でした。**

平均 CPUE は 9で、前年を上回ったものの、1995～97 年を下回り、近年では低い値でした（図 2）。

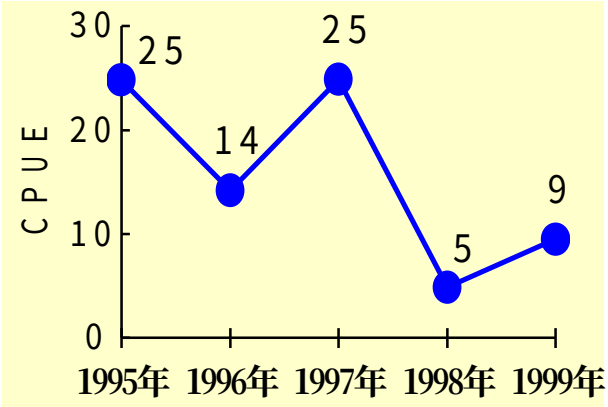

図 2 平均 CPUE の経年変化

②スルメイカの大きさ

スルメイカの外套長（胴体の長さ）は 18～19cm の個体が多く、**前年・前々年（1998・97年）よりも小型でした**（図３）。

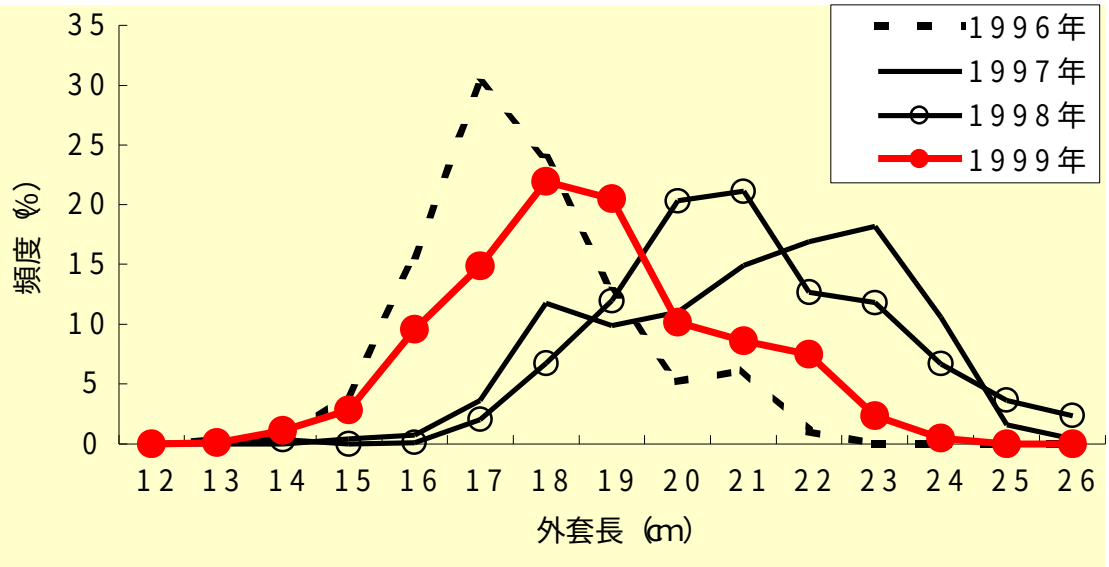

図３　調査海域全体の外套長組成

③ 水温分布

調査海域の 50m 深水温は、前年同様 3～12℃台でした（図４）。岩内沖に暖水域（12℃）、その北東に冷水域（5℃）がありました。

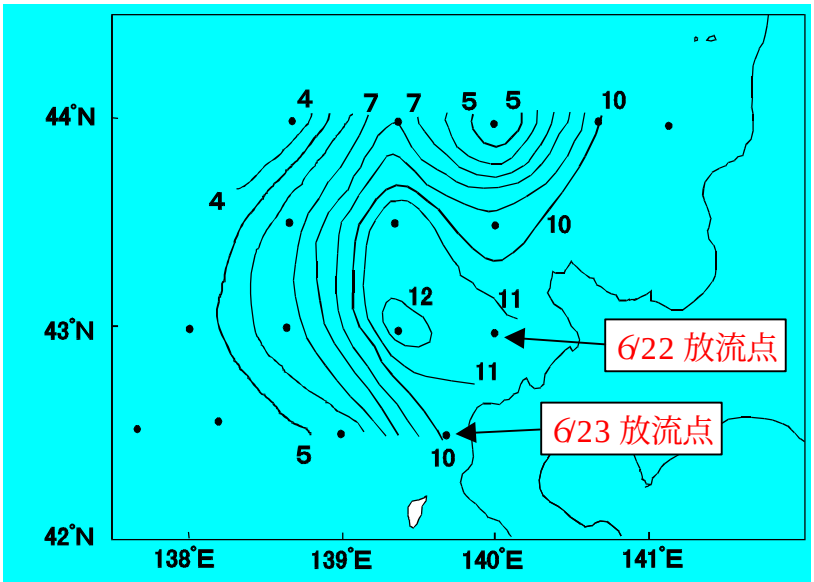

図４　6月下旬の 50m深水温分布および標識放流点

④標識放流

図４に示した場所で、標識放流を行いました（表１）。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。記念品を差し上げております。

表１　スルメイカ標識放流状況

放 流 月 日	放 流 場 所	標識の色・番号	放流尾数
6月 22 日	42°59′N、140°00′E	黄色・170～172	299
6月 23 日	42°30′N、139°40′E	黄色・173～182	960

※今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、水研・水試が共同で漁況予報を出す予定です。

（文責：中央水試　資源管理部）